



今回の夏号は4月に発表された毎年恒例の本屋大賞、そして11月に行われる組合創立80周年祝賀会で、講演をしていただくことになった写真家の大竹英洋さんの特集です。国内外で活躍する大竹さんの著書と写真集を紹介します。ぜひ手に取ってみてください。

2026年 本屋大賞



👑 大賞 『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ/著 日経 BP 日本経済新聞出版

沈みゆく列島で、“界限”は沸騰する——。あるアイドルグループの運営に参画することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒したい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。



2位 『熟柿』 佐藤正午/著 KADOKAWA

激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは轢き逃げの罪に問われ、服役中に息子・拓を出産する。出所後息子に会いたいがあまり園児連れ去り事件を起こした彼女は、息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。自らの罪を隠して生きる彼女にやがて、過去にまつわるある秘密が明かされる。

3位 『PRIZE』 村山由佳/著 文藝春秋

ライトノベルの新人賞でデビューした天羽カインは、3年後には初の一般小説を上梓、その作品で〈本屋大賞〉を受賞。以来、絶え間なくベストセラーを生み出し続け、ドラマ化・映画化作品も多数。誰もが認める大人気作家である。——しかし彼女には何としてでも手に入れたいものがあった。それは〈直木賞〉という栄誉。過去に数度、候補作入りするものの、選考委員からは辛口の選評が続いた。別居する夫には軽んじられ、まわりの編集者には「愛」が足りない。私の作品はこんなに素晴らしいのに。いったい何が足りないというの？

🌻 新着図書 🌻

『SPY×FAMILY17』 遠藤達哉/著 集英社

『その仕事、AI エージェントがやっておきました。』 西見公宏/著 技術評論社

『生成 AI で世界はこう変わる』 今井翔太/著 SB クリエイティブ



新東京BOOKS とは

組合員の方がご利用できる図書室です。場所は組合事務所3階、ご利用の際に利用登録をしていただきます。小説や実用書、雑誌等を取り揃えていますので、ぜひご利用ください。

STB通信 とは

新東京 BOOKS から発行する図書便りです。年4回発行。



～組合創立 80 周年祝賀会 講演会 講師～

写真家 大竹 英 洋

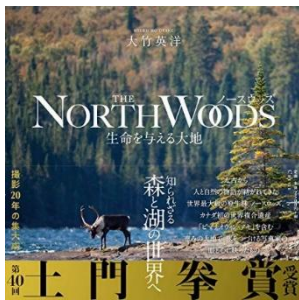
『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』



大学4年のある日、オオカミの夢を見た。自然写真家を目指していた著者は、導かれるように1冊のオオカミの写真集と出会う。「ダメもとくらいの挑戦をしないと、人生は面白くない」と語る著者は、その世界的な写真家ジム・ブランデンバーグに弟子入りを直接志願するため、単身アメリカに旅立つ。ミネソタ州北部に広がる森と湖の世界「ノースウッズ」の入り口へたどり着き、ジムの家がある先にあると突き止めると、カヤックにキャンプ道具を積み込み、水上の旅へ。深い北国の森と無数の湖、様々な野生動物との出会い。8日間の旅の末にたどり着いた場所で、ついにジムとの対面を果たすが――。

臨場感あふれる自然描写、不安に揺れ動く心情を正直に素直に描く、著者のかざらない姿に、いつしか共感し励まされる。自分の足で歩き、自分の目を見て、人と出会うことの大切さを教えてくれる、人生の羅針盤となりうる一冊。

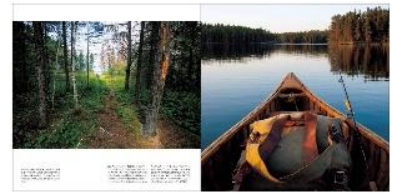
『ノースウッズ 生命を与える大地』



撮影20年の集大成。北米大陸、知られざる森と湖の世界。

「自然の奥を旅して、その先に見えてくることを伝えたい」

大竹英洋が20年に渡り取材するノースウッズ。それは北米の北方林、つまり、アメリカとカナダの国境付近から北極圏にかけて広がる地域のこと。世界最大の原生林の一つでもあるこの地には、カリブーやオオカミ、ホッキョクグマなど、様々な野生動物が生息しています。カナダ初の世界複合遺産「ピマチオウィン・アキ」を含む恵みの大地で、旅をつづける写真家の眼と心に映ったもの…



プロフィール 大竹英洋（おおたけひでひろ）

1975年生まれ。写真家。一橋大学社会学部卒業。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作し、国内外の新聞、雑誌、写真絵本で発表している。

写真家を目指した経緯とノースウッズへの初めての旅を綴ったノンフィクション『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森ノースウッズ』で「第七回梅棹忠夫・山と探検文学賞」受賞。カラフトフクロウの給餌を捉えた作品「北の森に生きる」で「日経ナショナルジオグラフィック写真賞 2018 ネイチャー部門最優秀賞」受賞。自身初の本格写真集『ノースウッズー生命を与える大地ー』で2021年、「第40回土門拳賞」受賞。